

## 精神保健メディアカンファレンス

### 相模原の事件が問いかけるもの

7月26日に「津久井やまゆり園」において障害のある方19人が殺される事件が起きました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご家族には謹んでお悔やみ申し上げます。また、けがをされた方が一日でも早く回復されることを願うとともに、困難の多い中で、けんめいにケアにあたっている職員の皆さまに深く敬意を表します。

さて、容疑者として逮捕されたのは、この施設の元職員でした。事件の動機として、重度の障害者は生きていても仕方がないと述べたと報道されています。また、事件の約5か月前に精神科医療機関に措置入院していたことから、措置入院後の事件発生までの間に防止する手立てはなかったかという疑問が投げかけられています。

全国精神保健福祉連絡協議会では、この事件の重大性に鑑みて、メディアカンファレンスを開催することにいたしました。メディアカンファレンスとは、それ自体が取材の対象ではなく、メディアの皆さまに基本的な情報を提供して、より本質をとらえたよい報道に役立てていただくものです。

ご参加のほどよろしく願いいたします。

日時:平成28年9月13日(火曜)午後6時～9時

会場:上智大学四谷キャンパス12号館102教室

(〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1)

[http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map\\_yotsuya](http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya)

内容:精神保健メディアカンファレンス「相模原の事件が問いかけるもの」

「精神科医療からメディアの疑問を考えるならば」

松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部長)

「地域精神保健の立場からこの事件を考える」

金田一正史(全国精神保健福祉相談員会会長)

「重度の障害者は生きる価値がないと考えたことへの疑問」

佐藤幹夫(作家/編集工房飢餓陣営主催)

「グリーンケアの視点から」

高木慶子(上智大学グリーンケア研究所特任所長)

「総括的なコメント」

島菌進(上智大学グリーンケア研究所所長)

コーディネーター:竹島正(全国精神保健福祉連絡協議会会長)

参加申込みの方法:メールにて全国精神保健福祉連絡協議会事務局に電子メールにてお申し込みください(参加募集80人)。メールアドレスは [renraku.kgk@gmail.com](mailto:renraku.kgk@gmail.com) です。

参加料:1,000円(会場費用,資料印刷など)

主催:全国精神保健福祉連絡協議会

共催:上智大学グリーンケア研究所

協力:全国精神保健福祉相談員会